

公益社団法人日本包装技術協会

事業の一覧

事業区分		事業の内容
公益目的事業	公益1	<p><講座、セミナー、育成事業></p> <p>包装に関する知識の習得と技術の向上を図ることを目的とする事業 主な具体例：包装専士講座、包装管理士講座、セミナー、コース、研究会、フォーラム、Webフォーラム、研究大会、懇話会 ＊支部で行っている事業はすべてここに属し、公1として扱う</p>
		<p><体験活動等事業></p> <p>包装に関する体験活動を通して知識の習得と普及を図ることを目的とする事業 主な具体例：海外視察団、見学会</p>
		<p><表彰、コンクール事業></p> <p>包装に関連した技術やデザインの啓発を目的として行われる事業で、入賞作品はすべて展示会において一般公開される 主な具体例：パッケージングコンテスト、木下賞</p>
	公益2	<p><展示会、ショー事業></p> <p>包装の最新情報を内外の関連分野に対して啓発、普及を行うことを目的とする事業 主な具体例：東京国際包装展、暮らしの包装商品展</p>
	公益3	<p><調査、資料収集事業></p> <p>委託による調査及び資料収集が中心となっており、結果は報告書や規格となって一般に公表される 主な具体例：ISOに関する活動、JISに関する活動、統計調査</p>
収益事業	収益1	<p><出版事業></p> <p>毎月刊行されている当会の機関誌の出版に関する事業。雑誌は会員には無料、一般には有料で配布されている。その他、非定期的に包装に関する単行本等を刊行 主な具体例：機関誌「包装技術」、包装技術便覧、包装用語辞典</p>

*その他行事：総会、新年会、会員交流会等

公益社団法人日本包装技術協会 2025年度事業報告

本 部

2025年4月1日～2026年3月31日

当会の事業は、概ね年度活動方針および事業計画に沿って実施された。協会事業の柱となっている包装人材育成事業（包装管理士講座、包装専士講座、等）や情報提供事業は当初の計画通り成果をあげることができた。

包装管理士講座は、今期（第60期）、489名の受講生を得て対面とオンラインで開講し、再受講合格者を含め476名が合格し、包装管理士の称号が授与された。これにより、第1回の開催以来60年間で包装管理士の有資格者は16,871名となった。

包装専士講座は、輸送包装、食品包装、包装材料及び医薬品包装の4コースを6月より開講し、3月までの期間で開催し、45名の包装専士が誕生した。これまでの包装専士有資格者は、1,598名となった。

情報提供事業の柱である JPI WEB フォーラム（オンライン開催）は、本年度も年間計画に沿って情報と交流の機会を会員に提供した。

展示会事業として、暮らしの包装商品展2025を10月3日（金）・4日（土）の2日間、イオンレイクタウン Kaze 光の広場（埼玉県越谷市）にて開催した。今回は「包装でみんなの生活を豊かに！～これから包装ができること～」を開催テーマとし、包装が果たす役割や重要性について理解を深めていただくことを目的として、全8社・団体による出展のもと、9,504名を超える方にご来場いただき、盛況のうちに終了した。

また、2025年度は TOKYO PACK 2026 の準備年にあたる。昨年6月に実行委員会を発足し、9月24日より公式ホームページにて出展社の募集受付を開始した。

第1 事 業

1. 研修、育成事業、交流事業、普及啓発事業（公益目的事業1）

<研修、育成事業>

研修、育成事業は、講師・運営委員会による企画のもとニーズに合わせたテーマ・カリキュラムで開催した。またオンライン開催など、催事の目的にそった開催方法をそれぞれで採用した。

包装人材育成事業の柱である包装管理士講座は489名の受講者を得て対面とオンラインで開講し、今期（第60期）は476名が合格し包装管理士の称号が授与された。これにより第1回の開講以来60年間で包装管理士の有資格者は16,871名となった。

本年度包装専士講座は、例年通り全4コースで開講した。参加者の健康および安全を確保しつつ従来の教育の質を保つため対面による授業を行った。本年度は45名が合格し、包装専士の称号が授与された。これにより包装専士の有資格者は1,598名となった。

情報提供事業の柱である JPI WEB フォーラムは本支部協力のもと定期的に情報と交流の機会を会員に提供し、年度活動方針および事業計画に沿って実施している。

1) 第60期包装管理士講座

期間：6月4日（水）開講～9月10日（水）終講

合格者：受講者489名

（合格者476名 ※受講者数・合格者数ともに昨年度継続者含める）

合格者内訳：東京会場 278名 大阪会場 93名 名古屋会場 60名

福岡会場 22名 仙台会場 15名 札幌会場 8名

〈 輸送包装コース180名・生活者包装コース296名 〉

以上の結果、60期を通して包装管理士有資格者は、16,871名となった。

2) 2025年度包装専士講座

2025年2月3日（月）～4月25日（金）で受講生の募集をし、2025年6月5日（木）～2026年3月3日（火）の期間にて、例年通りに4コース（輸送包装、食品包装、包装材料、医薬品包装）で開講した。カリキュラムはほぼ月1回で開講する一般講義のほか、実地研修、事例研究、包装専士論文の発表で構成されている。本講座で培われる講師と受験生、受験生同士の“情報ネットワーク”は、本講座を終了した者だけが得られる財産と考え、リモート講座ではなく、対面講座を基本に行っている。

2025年度の受講者45名のコース別内訳は次のとおりである。

輸送包装コース・・・ 7名 食品包装コース・・・ 13名

包装材料コース・・・ 14名 医薬品包装コース・・・ 11名 最終合格者45名

会場：合宿研修 湘南国際村センター 一般講義 JPI 会議室、各実地研修会場

3) 全日本包装技術研究大会

包装に関する工夫の実例や研究開発の成果を広く発表すると共に、同業・異種業界の関係者との相互の交流を深めることを目的に開催した。

催事名：第63回全日本包装技術研究大会（仙台大会）

部 会：5部会（輸送包装、食品包装、生活者・化粧品包装、包装資材、環境包装）

会 期：12月18日（木）～19日（金）

場 所：仙台国際センター

参加数：364名

<特別講演>

「北三陸から、世界の海を豊かにする」

株式会社北三陸ファクトリー

代表取締役 CEO 下葦坪 之典（したうつぼ ゆきのり）氏

<部会発表> 50件

4) 研究会、講習会、セミナー、シンポジウム等の研修活動

(1) JPI WEB フォーラム

① 4月 JPI WEB フォーラム

4月17日(木) JPI 本部主催 参加者164名
テーマ:積層段ボール緩衝材の設計法
講師:セイコーエプソン株式会社 P 商業・産業企画設計部 一宮 祐太 氏

② 5月 JPI WEB フォーラム

5月12日(月) JPI 本部主催 参加者121名
テーマ:大学教育から見る食品容器包装業界の課題
講師:学校法人日本女子大学 食科学部食科学科・准教授 北澤 裕明 氏
5月16日(金) JPI 本部主催 参加者102名
テーマ:教育と販促の一気通貫実施による新しい環境価値訴求の形
講師:株式会社日本総合研究所 創発戦略センターグリーン・マーケティング・ラボ
ラボ長/チーフスペシャリスト 佐々木 努 氏

③ 6月 JPI WEB フォーラム

6月23日(月) JPI 本部主催 参加者250名
テーマ:日用品使用済み容器回収実証実験の成果と課題
講師:ライオン株式会社 サステナビリティ推進部 中川 敦仁 氏
6月30日(月) JPI 西日本支部主催 講師健康上の都合により中止
テーマ:食品接触材に関する主要国の規制、試験について
講師:テュフラインランドジャパン株式会社 製品事業部
ソフトライン&ハードライン セールスエグゼクティブ 松本 貴章 氏

④ 7月 JPI WEB フォーラム

7月25日(金) JPI 本部主催 参加者246名
テーマ:AI画面解析による製品ダンボール破損判断と標準化を目指して
講師:サントリーホールディングス株式会社 サプライチェーン本部
戦略本部 DX推進部 専任部長 上前 英幸 氏
7月30日(水) JPI 関西支部主催 参加者257名
テーマ:サステナブルパッケージとプレミアム価値の両立
講師:株式会社資生堂 ブランド価値研究所
グローバルプロダクト価値開発センター 外装3グループ研究 小橋 佳彦 氏

⑤ 8月 JPI WEB フォーラム

- 8月4日(月) JPI 本部主催 参加者 401名
テーマ: EUの包装及び包装廃棄物規則 (PPWR) と今後の日本の対応
講師: みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社
サステナビリティコンサルティング第2部 シニアコンサルタント 佐野 翔平 氏
サステナビリティコンサルティング第2部 シニアコンサルタント 中村 彩乃 氏
- 8月7日(木) JPI 本部主催 参加者 168名
テーマ: パレット標準化推進における現状と課題
～パレット段積み用資材『Eスリーブの開発』～
講師: 親和パッケージ株式会社 開発営業チーム 遠藤 紗奈子 氏
- 8月20日(水) JPI 関西支部主催 参加者 187名
テーマ: 発泡スチロールに関する海外法規制の動向
講師: 発泡スチロール協会 人材開発部部长 藤原 裕士 氏

⑥ 9月 JPI WEB フォーラム

- 9月16日(火) JPI 本部主催 参加者 98名
テーマ: 包装機械投入前後工程における自動化の課題と視触覚技術導入による実現可能性について
講師: 株式会社 FingerVision Chief Revenue Officer 角谷 雄一 氏
- 9月27日(金) JPI 関西支部主催 参加者 159名
テーマ: “未来のレモンサワー” レモンスライス装入システムの開発
講師: アサヒビール株式会社
パッケージング技術研究所 開発第二部・副課長 神山 直也 氏

⑦ 10月 JPI WEB フォーラム

- 10月16日(木) JPI 東北支部主催 参加者 176名
テーマ: 完全循環型で海洋生分解性があり成型可能で透明な「板紙」
講師: 国立研究開発法人海洋研究開発機構 (JAMSTEC)
海洋機能利用部門 副主任研究員 磯部 紀之 氏
- 10月20日(月) JPI 本部主催 参加者 64名
テーマ: 計量制度改正～自動捕捉式はかりの検定義務化～ 状況と注意点
講師: 全国自動はかり検定株式会社 代表取締役 山本 浩之 氏
- 10月30日(木) JPI 関西支部主催 参加者 171名
テーマ: パルプモールドの設計理論と落下解析を活用した緩衝材設計、及び製品への展開
講師: ブラザー工業株式会社 LE 開発部 上原 淳治 氏
IJ デバイス統括部 福井 淳 氏

⑧ 11月 JPI WEB フォーラム

- 11月10日(月) JPI 本部主催 参加者 285名
テーマ: 国内外動向と包装材料の TOPPAN の取り組みーモノマテリアル、リサイクルなどー
講師: TOPPAN 株式会社 生活・産業事業本部 SX 推進センター
SX パッケージ開発本部 包材開発1部 2チーム 藤村 香往里 氏
- 11月19日(水) JPI 本部主催 参加者 140名
テーマ: 包装で改善する物流問題と DFL の重要性、輸送包装の世界では
講師: 株式会社東北ウエノ 設計開発部 課長 佐々木 幸子 氏

⑨ 12月 JPI WEB フォーラム

- 12月10日(水) JPI 関西支部主催 参加者 396名
テーマ: 世界の法規制のアップデート~EU の PPWR、米国の包装 EPR ほか~
と日本企業の対応
講師: 株式会社パッケージング・ストラテジー・ジャパン
取締役社長 森 泰正 氏
- 12月11日(木) JPI 本部主催 参加者 96名
テーマ: 飲料工場における省力化・省人化対応の課題と実践
講師: 株式会社アセプティック・システム
APP ビジネス本部 APP ソリューション部 部長 桑野 誠司 氏
- 12月12日(金) JPI 本部主催 参加者 87名
テーマ: サーキュラーエコノミーの実現を目指したガラスびん「MomiGlass」の開発
講師: 日本山村硝子株式会社 研究開発センター 第3グループ 堀 詩織 氏

⑩ 1月 JPI WEB フォーラム

- 1月19日(月) JPI 本部主催 参加者 72名
テーマ: リニア搬送システムの導入事例と最新技術のご紹介
講師: ベッコフオートメーション株式会社 営業部 小平 克巳 氏
- 1月27日(火) JPI 関西支部主催 参加者 171名
テーマ: 紙容器の資源循環促進に向けて
講師: 日本テトラパック株式会社 サステナビリティ ディレクター 大森 悠子 氏

⑪ 2月 JPI WEB フォーラム

- 2月9日(月) JPI 本部主催 参加者 162名
テーマ: 包装機械の基礎、トレンド、トラブル対策について
講師: 株式会社日本包装リース 西日本営業部 部長 児玉 圭弘 氏

- 2月10日(火) JPI 西日本・東北支部共催 参加者150名
 テーマ:2025 日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会
- ①「梅酒 700ml 瓶五角柱紙器箱 12 本用ケース」
 王子コンテナ株式会社 営業本部 CS 推進部設計・デザイン室 平山 佳子 氏
- ②「ころピタカートン」
 ダイナパック株式会社 開発本部 製品開発グループ 山邊 哲久 氏
- ③「カップ型緩衝材を用いた 100kg 級精密機器包装の省材料化」
 京セラドキュメントソリューションズ株式会社 技術本部 PSL 統括技術部
 第 13 技術部 MD17 課 第 2 係 脇本 篤宏 氏
- ④「全方向ガッチリ固定! T11 パレットにぴったりな保管棚」
 株式会社トーモク 開発営業 第一部 豊島 圭人 氏
- ⑤「緩衝機能付き箱パッド」
 株式会社デンソーエアークール 開発部 技術支援室 塚田 篤来 氏
- ⑥「モーターアッシーの 3D 包装」
 太陽インダストリー株式会社 段ボール事業部 営業部 部長 菅 貴之 氏
- 2月25日(水) JPI 中部支部主催 参加者92名
 テーマ:物流の変革ー持続可能な物流の実現に向け荷主が取り組むべきことー
 講師:流通経済大学 流通情報学部 教授 大島 弘明 氏
- 2月27日(金) JPI 関西支部主催 参加者216名
 テーマ:フレキシソ印刷パッケージと製版
 講師:株式会社渡辺護三堂 代表取締役社長 宮田 玲 氏
 本社営業部(国際ビジネス担当) スタマティオス・スタマティ 氏
- ⑫3月 JPI WEB フォーラム
- 3月9日(月) JPI 中部支部主催 参加者92名
 テーマ:コカ・コーラシステムにおけるラベルレスPETボトルの開発事例
 講師:株式会社コカ・コーラ東京研究開発センター パッケージ開発チーム
 飯田 亮 氏
- 3月11日(水) JPI 関西支部主催 参加者127名
 テーマ:日本の物流が抱える本質的課題について
 ～“物流2024年問題”が進行中の日本の物流の根幹治療とは～
 講師:株式会社日本NX総合研究所 リサーチフェロー 田阪 幹雄 氏
- 3月18日(水) JPI 本部主催 参加者218名
 テーマ:器具・容器包装の規格基準に関する最近の話題
 講師:消費者庁 食品衛生基準審査課 基準策定専門官 高橋 喜元 氏
- 3月24日(火) JPI 本部主催 参加者272名
 テーマ:プラスチックのケミカルリサイクルの基礎
 講師:株式会社 旭リサーチセンター シニアリサーチャー 府川 伊三郎 氏

(2) 包装情報ステーション

4月15日(火) オンライン配信 JPI 本部主催 参加者 156名
テーマ: パッケージ印刷の色品質を数値により見える化! 管理ツールのご紹介
講師: エックスライト社 セールスマーケティング部 アプリケーションエンジニア 岡松 英二 氏

(3) コース

①第31回包装新人研修コース

4月3日(木)・4日(金) JPI 会議室(対面) 参加者 43名

第1日目

「包装の役割と包装を取り巻く現状」

加藤包装技術事務所 加藤 武男 氏

「包装に求められる包装材料」

加藤包装技術事務所 加藤 武男 氏

「生活者にやさしい包装: ユニバーサルデザインとは」

トータルプロネット 代表 岡 利彦 氏

第2日目

「包装を取り巻く規制・法律について」

日本包装コンサルタント協会 会長 (技術士(経営工学)・弁理士) 白倉 昌 氏

「包装設計の基礎と考え方 —設計技法と事例—」

カゴメ株式会社 商品開発本部 新領域開発部 容器開発グループ 加藤 道昭 氏

「輸送環境と包装」

前 オリンパス株式会社 藤井 幸則 氏

「商品企画とパッケージデザイン~商品づくりのポイントとデザインの関わり~」

大日本印刷株式会社 Life デザイン事業部 ビジネスクリエイションセンター

サービス開発本部 プランニング第1部第2グループ 金子 素子 氏

②第58回包装基礎コース

5月20日(火)~23日(金) 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター RoomC
(対面) 参加者 86名

第1日目

「包装概論と包装技法」

大日本印刷株式会社 研究開発・事業化推進センター事業開発本部

食とヘルスケア事業開発ユニット開発第3部 部長 多久島 和弘 氏

「ガラスびん・金属缶・プラスチック容器の基礎」

アサヒビール株式会社 パッケージング技術研究所 富野 義孝 氏

「プラスチックフィルム」

ユニチカ株式会社 包装フィルム営業部 市場開発グループ・主任部員 鈴木 知治 氏

第2日目

「紙系の容器・包装の基礎」

日本製紙株式会社 紙パック営業本部

紙パックグローバル営業統括部・主席技術調査役 野田 貴治 氏

「防湿包装・ガス遮断包装（バリア包装）」

ZACROS株式会社 研究所 研究推進部

企画推進グループ／上席主任研究員（包装専士） 小野 松太郎 氏

「食品包装設計の基本」

雪印メグミルク株式会社 ミルクサイエンス研究所 技術開発研究室

容器包装開発チーム主査 山住 弘 氏

第3日目

「段ボール」

王子コンテナ株式会社 営業本部 CS推進部 設計・デザイン室 主幹 門田 光史 氏

「輸送包装設計」

株式会社石野製作所 専務取締役 高橋 二郎 氏

「輸送包装の実際」

MDロジス株式会社 物流戦略統括部 物流技術部

パッケージエンジニアリンググループ・主管 荒川 浩司 氏

第4日目

「段ボール包装設計」

レンゴー株式会社 包装技術第一部 東京包装技術第一課 担当課長 高比良 仁司 氏

「環境対応パッケージの喫緊の課題」

住本技術士事務所 所長 住本 充弘 氏

「パッケージデザイン概論」

武蔵野美術大学 造形学部 通信教育課程 教授 福井 政弘 氏

③第3回循環型包装コース

11月20日（木） オンライン配信

参加者105名

講師：住本技術士事務所 所長

住本 充弘 氏

④第47回段ボール包装設計コース

2月19日（木）・20日（金） JPI 会議室

参加者43名

講師：レンゴー株式会社 包装技術第一部 部長

杉田 裕紀 氏

王子コンテナ株式会社 営業本部 CS推進部 設計・デザイン室（静岡）

室長代理 鈴木 麻美 氏

(4) 2025パッケージングフォーラム

9月17日(水) オンライン配信

参加者123名

テーマ1:「イプサME」環境負荷低減と情緒的価値の両立

講師:株式会社資生堂 研究員

小橋 佳彦 氏

テーマ2:易剥離接着剤を活用したリサイクル性を向上させたつめかえパウチの開発

講師:ライオン株式会社 研究開発本部 パッケージ開発研究所

花田 真一 氏

テーマ3:海外向け自動車部品インジェクター集合包装改善

講師:スズキ株式会社 生産計画部 梱包設計課

小田切 洸貴 氏

(5) セミナー・シンポジウム

①「第34回化粧品包装セミナー」

9月19日(金) オンライン配信

参加者50名

テーマ1:『フィルム容器の普及、本体容器化の拡大に向けて』

ーらくらくスイッチの開発事例ー

講師:花王株式会社 包装技術研究所・研究員

大島 貴宏 氏

テーマ2:『ガラスびんの基礎、化粧品容器としてのガラスびん』

講師:興亜硝子株式会社

グローバル営業本部・本部長/商品開発本部・本部長兼務 佐藤 強 氏

テーマ3:『化粧品容器包装の設計で求めるもの』機能の奥にある本質を考える

講師:尾崎技術士事務所 代表

尾崎 尚武 氏

テーマ4:『店舗空間開発から見る、今後の化粧品パッケージの展望』

講師:株式会社 東急エージェンシー 商空間クリエイション局

第2開発部 部長

井上 友香理 氏

②「第21回包装材料セミナー」

2月4日(水) オンライン配信

参加者70名

テーマ1:『欧州における包装材料規制と業界に与える影響』

講師:一般財団法人 化学研究評価機構 食品接触材料安全センター

情報調査・広報室長 石動 正和 氏

テーマ2:『非フッ素耐油紙 O-hajiki シリーズの開発背景とメカニズムについて』

講師:王子エフテックス株式会社 商品開発本部 マーケティング部

マネージャー 竹本 圭佑 氏

テーマ3:『サーキュラーエコノミーの実現を目指す社会における

プラスチックの循環利用の現状』

講師:早稲田大学 理工学術院総合研究所 招聘研究員

化学研究評価機構 参事

加茂 徹 氏

テーマ4:『食品包材のハラール対応』

講師:味の素株式会社 品質保証部 品質保証推進グループ

武 康夫 氏

③「2025年度医薬品包装セミナー」

3月6日（金） オンライン配信

参加者35名

テーマ1：『医薬品包装分野におけるバイオマスプラスチック導入推進・強化について
～バイアル保護包装のバイオマス化と採用に至る開発実録～』

講師：株式会社ILファーマパッケージング BD部

グローバルマーケティンググループ長 炭谷 彰 氏

テーマ2：『PTP包装におけるモノマテ化・リサイクルサービス提供取組について』

講師：双日プラネット株式会社 高機能パッケージング

BU第d課 副課長 伊原 崇全 氏

テーマ3：『カラーユニバーサルデザインの視点から考える医薬品包装デザイン』

講師：NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構 事務局長 伊賀 星史 氏

テーマ4：『患者目線と薬剤師の視点から考える医薬品包装の役割と可能性』

講師：横浜薬科大学 薬学部 准教授

鈴木 高弘 氏

④「第12回包装近未来シンポジウム」＊講師の都合により延期した前年度分を開催

ープラスチック包装材についての大トレンドー

4月25日（金） オンライン配信

参加者54名

テーマ1：『プラスチック汚染防止条約交渉の現状と今後の課題』

講師：環境省 水・大気環境局 海洋環境課 海洋プラスチック汚染対策室長 中山 直樹 氏

テーマ2：『プラスチック資源循環の海外政策動向について』

講師：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 政策研究事業本部

環境・自然ユニット 地球環境部 主任研究員 仲嶋 翼 氏

テーマ3：『プラスチック容器の環境対応に対する国内外の考え方と取り組み』

講師：キューピー株式会社 食創造研究所

シニア・コーポレート・サイエンティスト

高山 崇 氏

パネルディスカッション（講師と企画委員）

テーマ：『プラスチック包装材料のリサイクルの課題

～国内向けとEU向けなどの包装製品について～』

⑤「第13回包装近未来シンポジウム」

ー日本の法改正を軟包装でどう生かし世界で発展していくかー

3月13日（金） JPI会議室

参加者36名

テーマ1：『成長志向型の資源自律経済の確立に向けた取組について』

講師：経済産業省イノベーション・環境局 GXグループ資源循環経済課課長補佐

今井 美希 氏

テーマ2：『再資源化事業等高度化法について』

講師：環境省 環境再生・資源循環局 資源循環課

水島 大輝 氏

テーマ3：『再生材を活用した軟包装の国内展開に関して』

講師：TOPPAN株式会社生活・産業事業本部 SX推進センター

SXパッケージ開発本部

滝田 亮一 氏

テーマ4：『海外のリサイクル視察報告～欧州（スウェーデン）および
中国の先端メカニカルリサイクル施設と再生材使用状況』

講師：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会業務執行理事

プラスチック容器事業部長

前川 恵士 氏

パネルディスカッション（講師と企画委員）

テーマ：『日本の法改正を軟包装でどう生かしていくか』

5) 包装懇話会（年間登録メンバー制）

東京本部（いずれも対面及びオンラインによるハイブリッド開催）

(1) 食品・流通包装懇話会

7月17日（木）：第186回 講演会

1. PPWR の概要と化学メーカーの対応
2. PPWR への樹脂メーカーの対応
3. PPWR を見据えたサステナブルなパッケージとは

10月2日（木）：第187回 見学会

「株式会社Jサーキュラーシステム 川崎スーパーソーティングセンター」

12月4日（木）：第188回講演会

1. KOBE PLASTIC NEXT エコノバ（資源回収ステーション）
2. ポリスチレンのケミカルリサイクル技術動向
3. プラスチックリサイクルの現状と展望 — 制度・技術・経済をつなぐ実務的視点から

2月5日（木）：第189回講演会

1. アース流パッケージデザイン評価—脳波や視線計測を導入した多角的評価法—
2. 包装におけるアクセシビリティ 求められる合理的配慮

(2) 医薬品包装懇話会

6月20日（金）：第168回 講演会

1. 近未来の時代ニーズに沿った医薬品包装・表示の模索
2. サステナブル医薬品包装推進コンソーシアムおよびエーザイの環境負荷低減活動について

9月18日（木）：第169回 講演会

1. 医療向け DX 支援の取り組みと医療現場における包装
～医療現場と製薬企業をつなぐ～
2. プラスチック製医薬品ボトルのリサイクルに向けた環境配慮設計の在り方について

11月21日（金）：第170回 講演会

1. PTP 包材の基礎、新技術、リサイクルへの取り組みなど
2. 医薬品包装の完全性評価 圧力変化漏れ試験法における実例

2月13日（金）：第171回 講演会

1. 6年制教育における薬剤師と医薬品・患者ケア
2. 軟包装技術の深化と医薬品包装における環境適合設計へのアプローチ

(3) パッケージデザイン懇話会

5月19日(月):第171回 講演会

持続可能な社会の、美と心のデザイン

8月29日(金):第172回 講演会

料理とスパイスの楽しさを子どもたちに伝えたい。～商品と体験を通じて～

11月25日(火):第173回 講演会

榮太樓總本舗 受け継がれる大切なこと

2月25日(水):第174回 講演会

『買い場』で購買を促進する、最新POP広告トレンド

4) 輸送包装懇話会

7月4日(金):第160回 講演会

特集:施行1年を迎えた2024年問題 各業界の輸送包装への取組み1

1. 花王における“シン・物流包装” ～守破離の設計手法と実践～ (前編)

2. 持続可能な食品物流の構築に向けて (前編) ～企業間連携によるF-LINE
プロジェクトの取組み～

9月12日(金):第161回 講演会

特集:施行1年を迎えた2024年問題 各業界の輸送包装への取組み2

1. 花王における“シン・物流包装” ～守破離の設計手法と実践～ (後編)

2. 持続可能な食品物流の構築に向けて (後編) ～企業間連携によるF-LINE
プロジェクトの取組み～

3. 家電製品の包装を取り巻く課題と取組み

11月7日(金):第162回 見学会

株式会社ファンケル ファンケル関東物流センター

2月18日(水):第163回 講演会

特集:ユニットロード

1. ユニットロードでつなぐ包装・物流・経営ー BtoB と BtoC にみる輸送環境と設計思想

2. 物流の効率化に向けた「P パレ共同使用」の仕組みと、流出・不正使用対策の実際

<交流事業>

国内事業においては、半日の工場見学を年3回実施した。海外事業においては、アジア包装連盟(APF) および世界包装機構(WPO)の理事会および併催行事に参加した。

また、ミシガン州立大学包装学部の日本研修が行われ、日本包装技術協会にて立案・実施の支援を行った。

1) 国内事業

月例見学会(年3回開催)

①第307回 見学会

開催日:7月22日(火)

参加者18名

見学先:東洋製罐グループホールディングス株式会社 容器文化ミュージアム

②第308回 見学会

開催日：12月3日（水）

参加者23名

見学先：日清オイリオグループ株式会社 あぶらミュージアム・工場見学

③第309回 見学会（日本MH協会共催）

開催日：3月13日（金）

参加者14名

見学先：株式会社椿本チエイン 埼玉工場 M. LABO

2) 海外事業

(1) アジア包装連盟（APF）との連携

①前期行事：6月にスリランカ・コロンボにて開催予定だった APF 戦略会議は、開催地の都合で中止となった。

②後期行事：理事会及び一連イベント：11月3日（月）～5日（水）にシンガポールにて開催された。

11月3日（月）：ワーキンググループ、理事会

11月4日（火）：アジア・パッケージング・コンフェレンス

11月5日（水）：工場見学

③アジアスター2025審査：10月8日（水）～16日（木）にオンラインにて開催
日本入賞作品数：10作品

(2) 世界包装機構（WPO）との連携

①前期行事：前期理事会、ワーキンググループ、ワールドスター表彰式

5月27日（火）～30日（金）イタリア・ミラノにて開催され
（IPACKIAM 併催）、日本代表として出席した。

5月27日（火）：ワーキンググループ

5月28日（水）：ワーキンググループ、コンフェレンス

5月29日（木）：理事会

5月30日（金）：ワールドスター表彰式

②後期行事：後期理事会、ワーキンググループ

10月28日（火）～30日（木）スリランカ、コロンボにて開催された。

日本はオンラインでのみ一部参加した。

③ワールドスター2026審査：11月にオンラインにて開催された。

(3) 国際包装研究機関連絡会（IAPRI）との連携

(4) 包装視察団の派遣

・5月27日（火）～30日（金）にイタリア・ミラノで開催された
国際包装展—IPACKIMA に包装視察団派遣を派遣した。参加団員数：12名

・6月11日（水）～14日（土）にタイ・バンコクにて開催された
国際包装展—PROPAK ASIA に包装視察団派遣を派遣した。参加団員数：10名

(5) 海外からの来日包装関係者の受入れ：5月13日（火）～23日（金）

ミシガン州立大学包装学部（MSU）およびロチェスター工科大学（RIT）の学生が訪日研修を行うにあたり、日本包装技術協会にて研修先の選定等、サポートを行った。

参加人数：（MSU）学生15名、引率2名、（RIT）学生14名、引率1名

(6) 海外包装協会、団体との連携

・10月20日（月）～21日（火）に中国包装連合会（CPF）が来協し、今後の連携に関する協議、および資生堂グローバルイノベーションセンターを訪問した。

参加人数：（CPF）2名、通訳1名

・2026年1月22日：ハンガリー大使館来協。

3月にハンガリー包装関連視察団が来日するにあたり、大使館関係者と協力体制について打ち合わせを行った。

<普及啓発事業> 東京本部

本事業の中心となる日本パッケージングコンテストは、経済産業省、日本商工会議所等の後援のもとに毎年開催されている。一般に対してもホームページからの募集を行っており応募が可能である。本年度も大学、公的機関及び消費者団体の方々で構成された審査員によって各賞を決定し、入賞作品（最高賞は経済産業大臣賞）をグッドパッケージ展として「暮らしの包装商品展2025」の特設会場において一般公開を行った。

木下賞は、誰でも無料で応募できるが、審査員は官学からの有識者で構成されるため、その審査基準は大変高く、また厳しいものとなっている。第49回となる今年度は、2月1日（土）から3月31日（月）まで募集を行い、26件の応募があり、審査・選考の結果、以下に決定した。

1) 第49回木下賞

審査会：5月 表彰式：6月13日（金） 如水会館

2月1日（土）～3月31日（月）の間で作品を募集し応募26作品のうち7作品が受賞した。

《研究開発部門》

・「易剥離接着剤を活用したリサイクル性を向上させたつめかえパウチの開発」

ライオン株式会社

・「185g用世界最軽量缶」

日本コカ・コーラ株式会社、東洋製罐株式会社

《改善合理化部門》

・「省材料・省工数で高緩衝力を実現した汎用ソフトタッチ段ボール緩衝材」

TOTO 株式会社

《新規創出部門》

・「水平リサイクル可能な循環型即陳折りたたみコンテナ」

花王株式会社、三甲株式会社

◎包装技術賞

- ・「積層段ボール緩衝材の理論設計手法」
セイコーエプソン株式会社
- ・「国産高さ可変包装機「J-RexS」の開発」
レンゴー株式会社
- ・「ソニー大型テレビ用緩衝材に、環境に優しいカネカ Green Planet 発泡体を使用」
株式会社カネカ、カネカフォームプラスチックス株式会社、ソニー株式会社、
ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ株式会社

2) 2025日本パッケージングコンテスト（第47回）

審査委員は18名で経済産業省をはじめとする公的組織からの代表や学識経験者によって構成され、企業からの参加はない。（審査委員長：東京大学名誉教授 小野 擴邦 氏）

審査選考：6月6日（金）

表彰式：8月27日（水） 東京ガーデンパレス

応募数：329点

入賞数：111点（内、ジャパンスター賞 13点）

経済産業大臣賞：『イプサ ME』 株式会社資生堂

3) 2025グッドパッケージング展

2025日本コンテストにおいて入賞したパッケージ111点（ジャパンスター賞13点、グッドパッケージング賞98点）の展示を「暮らしの包装商品展2025」の会場で行った。

また、入賞作品は、機関誌「包装技術」で紹介する他、電子版小冊子としてPR活動を行う。

とき：10月3日（金）～4日（土）

ところ：「暮らしの包装商品展2025」会場（越谷レイクタウン）

2. 展示会事業（公益目的事業 2）

1) 暮らしの包装商品展2025 開催報告

暮らしの包装商品展は、包装が果たす役割や重要性について、理解を深めていただくことを目的とする生活者を対象とした普及啓発事業である。国民生活における包装の役割や最新の技術動向、各企業での取り組み、そして循環型社会の構築に向けて、生活者と包装関係者が共に集い、より良い包装について共に考える場として、毎回多くの生活者が参加し盛況に開催している。

今回は日本一の広さを誇る商業施設「イオンレイクタウン」に開催場所を移し、「包装でみんなの生活を豊かに！～これから包装ができること～」をテーマに開催した。

とき：2025年10月3日（金）・4日（土）の2日間 11:00～17:00

ところ：イオンレイクタウン Kaze 光の広場（埼玉県越谷市）

後援：経済産業省

入場：一般公開 入場無料

展示内容：2025グッドパッケージング展

2025（第49回）木下賞受賞作品展／スタンプラリー

出展企業：8社・団体（社名五十音順・法人格・敬称略）

イオン、大森機械工業、花王、資生堂、TOPPAN、日本ガラスびん協会、
雪印メグミルク、日本包装技術協会

景品協賛法人一覧：24社・団体（社名五十音順・法人格・敬称略）

イオン／大倉工業／大森機械工業／オハヨー乳業／オパス／カゴメ／
川上産業／キッコーマンビジネスサービス／久原本家グループ本社／
資生堂／スーパーバグ／セツカートン／タナカ印刷／TOPPAN／
日清オイリオグループ／ニッポン／日本化工機材／日本ガラスびん協会
／日本デキシー／福助工業／Mizkan／明治／雪印メグミルク／ライオン

来場者数 10月3日（金）：3,681名 4日（土）：5,823名 計：9,504名

2) TOKYO PACK 2026（2026東京国際包装展）の開催準備

TOKYO PACK 2026は、本年10月14日（水）～16日（金）までの3日間、東京ビッグサイトにて開催する。今まで以上に技術振興、技術開発、人的交流の促進を目指すとともに、国際的な視野に立ち、時代のニーズをいち早くキャッチし、本展が包装技術の最新情報を発信するプラットフォームとして機能するよう努めていく。

今回は東京ビッグサイトの大規模改修により展示面積が大幅に減少することから、昨年9月24日（水）より開始した出展申込受付の際に、早めに検討いただくよう告知、対応を進め、昨年12月25日（木）をもって出展募集定数に達した。

一人でも多くの方に来場いただけるよう、企画展示やセミナープログラム等について、実行委員会を中心に審議検討し、あわせて全国の会員及び関係各位、関連機関とも連携しながら、包装産業の発展に寄与できるよう準備を進めていく。

名 称：TOKYO PACK 2026 - 2026東京国際包装展 -

Tokyo International Packaging Exhibition 2026

会 期：2026年10月14日（水）～16日（金） 10：00～17：00

会 場：東京ビッグサイト(東京国際展示場) 東1～3,7,8 ホール

開催テーマ：包みの技術で世界に優しさを Innovative Packaging Technology

~The link between our future planet and generations~

特別協力：一般社団法人日本包装機械工業会

後 援：経済産業省 他7団体（申請予定） 協 賛：包装関連団体 100団体

出展内容：包装資材・容器 包装機械 印刷・包材加工機械 食品・医薬品・
クリーン関連機材・検査・計測・環境関連機材 包装デザイン・サービス
次世代テクノロジー・物流・MH・包装ソリューション 海外出展

併催行事：2026グッドパッケージング展、2026（第50回）木下賞受賞作品展
出展社による最新包装技術セミナー、パッケージデザインパビリオン2026、
CLOMA パビリオン

併催事業：パッケージアカデミアの設置

本展実行委員会を中心としたWGを立ち上げ、学生の研究成果を発表できる場の提供と企業や来場者との有意義な出会いの場の開設に向けての討議を行った。

①国内主要展示会での TOKYO PACK 2026 PR ブース参加

- ・ 10月7日（火）～10日（金）：JAPAN PACK 2025（東京ビッグサイト）

②海外主要各国の国際包装展での TOKYO PACK 2026 PR ブース参加

以下の海外展示会にプロモーションを実施、予定している。

- ・ 6月11日（水）～14日（土）：PROPAK ASIA（タイ・バンコク）
- ・ 6月25日（水）～28日（土）：TAIPEI PACK（台北）
- ・ 9月16日（火）～19日（金）：ENVASE ALIMENTEK（アルゼンチン・ブエノスアイレス）
- ・ 11月25日（火）～27日（木）：SWOP-Shanghai World of Packaging（中国・上海）
- ・ 3月31日（火）～4月3日（金）：KOREA PACK（韓国・ソウル）

3. 調査研究事業（公益目的事業 3） 東京本部

現在、日本はISO/TC 122(包装)の議長及び国際幹事国を務めており、当協会はその事務作業の支援、および包装分野の国内審議団体としてISO規格の開発・改廃を進め、これらを通じて国際間の相互理解促進に寄与している。

本年度の新規事業としてISO 25968 アクセシブル包装設計-使用性の開発をスタートさせた。継続事業としてISO/DTR 18607「包装と環境 - 環境に配慮した包装設計についての情報」の開発を進めて来たが、10月15日（水）に発行することができた。これら開発事業以外にもISO/TC 122(包装)における各国からの様々な規格開発提案に対しても、我が国にとって不利益を及ぼす規格とならないよう、エキスパートの派遣、また国内委員会での審議を以て、適宜規格案の修正・提案を行っている。

また、包装は国民の日常生活に深く係っており、絶えず、その標準化を見直し、生活し易い環境を整えることが求められていることから、本年度も包装に関連するJISの見直し作業も精力的に進めている。

1) ISO/TC 122(包装)の議長・国際幹事国(事務局)としての活動

(1) 第27回ISO/TC 122 総会

6月27日（金）に、プラハ（チェコ）で対面およびオンライン開催し、世界10か国から41名（うち日本から10名）が参加した。

(2) 第12回ISO/TC 122/SC4 総会

6月26日（木）に、TC 122 総会開催期間中にプラハ（チェコ）で対面及びオンライン開催し、世界8か国から21名（うち日本から3名）が参加した。

(3) 各WG（規格開発作業グループ）の国際会議への参加

2) ISO/TC 122（包装）の国内審議団体としての調査研究及び標準開発活動

(1) 包装全般の国際規格に関する支援

(2) 「国際標準開発」に対する調査研究

①ISO 25968 アクセシブル包装設計-使用性 国際標準の開発（日英新規提案）

②ISO/DTR 18607：「包装と環境 - 環境に配慮した包装設計についての情報」の開発

③ISO/AWI TR 4924.2：宅配便包装に関するエコデザインの原則、評価要求事項及びガイドライン（中国提案への対応）

- ④ISO TS 18617：手掛け穴の設計原則と試験方法の国際標準の開発（韓国提案へ対応）
- ⑤ISO 25458：再利用可能な受動温度制御包装の国際標準の開発（韓国提案へ対応）
- ⑥ISO 25183：紙製包装製品のパルプ収率試験（韓国提案への対応）
- ⑦ISO 16103：危険物輸送包装ーリサイクルプラスチック材料の使用条件（ドイツ提案への対応）
- ⑧ISO 17508：危険物輸送包装ーポリエチレン、フッ素化ポリエチレン及び共押出プラスチックの適合性試験（ドイツ提案への対応）
- ⑨ISO 6608-2：インテリジェント包装の一般要求事項及び仕様（中国提案への対応）

3) JIS 制定・改正に関する調査研究

(1) 包装に関する JIS の原案作成事業の実施

JIS Z 0203「包装貨物ー試験の前処置」の改正

(2) 5年経過した JIS の定期見直し

上記標準化開発、調査研究は、政府関連機関からの委託事業又は日本規格協会の公募事業である。

4) その他の活動

包装技術研究所では協会内での活動はもとより、渉外活動として外部団体とも連携して委員会等へ参加し、包装技術に関する標準化、教育・人材育成、相互啓発・情報共有等に関わっている。

<標準化関連>

1. 一般財団法人 日本規格協会
 - ・ ISO/TC 104 コンテナ
 - ・ ISO/TC 145/SC3 機器・装置用図記号
 - ・ ISO/TC 308 加工・流通過程の管理
 - ・ ISO/TC 315 コールドチェーン物流
2. 一般社団法人日本自動認識システム協会
 - ・ ISO/TC 122/WG 12 物流技術のサプライチェーンへの応用
 - ・ JIS X 0520、JIS X 0560 改正原案作成委員会
3. 全国段ボール工業組合連合会
 - ・ JIS Z 1506、JIS Z 1516 改正原案作成委員会
4. 株式会社 NX 総合研究所
 - ・ JIS Z 0111 改正原案作成委員会
5. 日本フレキシブルコンテナ工業会
 - ・ JIS Z 1651 改正原案作成委員会
6. 公益社団法人 全国火薬類保安協会
 - ・ JIS K 4829、JIS K 4830 改正原案作成委員会
7. 日本プラスチック工業連盟
 - ・ ISO/TC 61/SC14 プラスチックスー環境側面
8. 一般社団法人日本防錆技術協会
 - ・ ISO/TC 156/WG 18 防錆技術

9. 一般社団法人日本ガス石油機器工業会
 - ・ ISO/TC 52 小型金属缶
10. 一般社団法人日本包装機械工業会
 - ・ ISO/TC 313 包装機械
11. 公益財団法人共用品推進機構
 - ・ ISO/TC 159 人間工学
 - ・ ISO/TC 173 福祉用具 国際標準化委員会

<教育・人材育成>

1. 流通経済大学 客員講師
2. 宮城大学食産業学部 非常勤講師
3. 日刊工業新聞社：包装技術学校 運営委員、講師
4. 技能検定制度（工業包装）：中央職業能力開発協会 作問委員

<相互啓発・情報共有>

1. 日本包装学会：理事、監事
 2. 一般社団法人製剤機械技術学会
 3. クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）：国際連携部会
 4. リデュース・リユース・リサイクル推進協議会：企画運営委員会
 5. サーキュラーエコノミー標準化プラットフォーム（CESP）
- 5) 包装産業出荷統計に関する調査研究

(1) 2024年の日本の包装産業出荷統計に関する調査研究

包装・容器出荷金額	6兆3,823億円	(前年 6兆1,437億円)	前年比 103.9%
包装関連機械生産金額	5,224億円	(前年 5,045億円)	前年比 103.5%
合計金額	6兆9,047億円	(前年 6兆6,482億円)	前年比 103.9%

(2) 2025年の日本の包装産業出荷統計に関する調査研究

包装産業関連各団体より統計資料収集

6) 包装技術教育高度化に関する研究・開発

現在、進めている包装技術に関する研究、啓発事業は次のとおりである。

(1) 標準化事業への協力

関係団体からの要請に応じ、委員会に出席するなど標準化、研究事業への協力

・包装高等教育（大学への包装学科・包装専攻開設）に向けての協力

日本包装学会にて今後の高等教育を検討するワーキンググループに委員を派遣し討議に参加。

(2) 啓発活動

出版活動と連携して「Q&A 容器包装規制・基準の手引き」誌への改訂執筆

4. 出版関連事業（収益事業） 東京本部

月刊機関誌「包装技術」は、当会会員により構成された編集委員会によって企画が行われており、創立以来、欠号なく刊行されている。本年度も引続き誌面の一層の充実を図りながら、月刊機関誌として毎月刊行した。本誌は、包装技術及び関連情報が中心となっているが、当会事業の案内や調査研究の成果、さらに新会員の紹介など幅広い内容を掲載し公開している。

本事業は会員への機関誌配布のみならず収益事業として、一般販売による購読収入と広告掲載収入によって進められている。

また、「包装技術便覧」を1995年以来の全面改訂版（第5版）として2019年2月に発刊、「包装用語早わかり（包装用語辞典）」を2022年10月に発刊、「改訂版 包装…知っとく 知識 改訂2版」を2024年10月に発刊したことを受け、包装産業界の人材教育、研究開発の一助として広報並びに販売を行った。

1) 機関誌「包装技術」の刊行 月刊（毎月1日発行、2026年1月号で通巻753号） 機関誌「包装技術」掲載記事（法人格略称）

■ 2025年4月号 特集：物流2024年問題—その先へ

- ①物流革新に向けた政策パッケージの進捗状況と今後～2024年の「物流革新元年」を振り返る～
／国土交通省 紺野 博行 氏
- ②「働き方改革関連法」施行後の輸送に纏わる規制動向とロジスティードが取り組む2024年問題についての対応策／ロジスティード(株) 宮寺 剛史 氏
- ③持続可能な物流と社会の実現に向けて／流通経済大学 味水 佑毅 氏
- ④2024年問題に対する包装の解決策／(株)東北ウエノ 鈴木 雅彦 氏
- ⑤スリーブコンテナ「デカボ」による物流改善と効率化／川上産業(株) 大瀧 光一 氏
- ⑥持続可能な物流に向けて—中距離帯での定期貨物鉄道輸送の取り組み／
ネスレ日本(株) 坂口治夫 氏
- ⑦物流業界における戦略的な気象データの利活用—交通影響予測の開発と展開について—
(株)ウェザーニューズ 北内 達也 氏、井上 章 氏、大山 佳織 氏、新見 幸奈 氏、
山本 晃寛 氏、泉本 洋香 氏、永原 基也 氏、植村 まりな 氏、寺山 佳那子 氏

■ 2025年5月号 特集：第62回全日本包装技術研究大会優秀発表

- ①設計理論と落下解析を活用したパルプモールド緩衝材と製品への展開／
ブラザー工業(株) 名坂 成昭 氏、種村 淳平 氏、上原 淳治 氏
- ②CAEを活用したカートン胴膨れ対策形状の開発／アサヒ飲料(株) 林 良祐 氏
- ③ストレッチフィルム作業における包装物の寸法比によるテンション変動について／
富士フィルムビジネスイノベーション(株) 遠藤 泰輔 氏
- ④環境負荷が低く生産性が高いカーナビ用V字型パルプモールド緩衝材の開発／
ダイナパック(株) 野本 早紀 氏、清水 久司 氏、(株)JVC ケンウッド 小山田 忍 氏、大原 貴広 氏
- ⑤積層段ボール緩衝材における緩衝設計理論の確立／
セイコーエプソン(株) 一宮 祐太 氏、神垣 真哉 氏
- ⑥倉庫型店舗向け冷凍焼き芋販売用段ボールケースの提案／セツカートン(株)大川姫香瑠 氏
- ⑦塩こしょう調味料キャップの改良／ハウス食品グループ本社(株) 尾崎 愛莉 氏

⑧箱入りレトルト製品包材の環境配慮対応と使い勝手向上／

ハウス食品グループ本社(株) 吉田 真希夫 氏

⑨易剥離接着剤を活用した積層フィルムパウチの開発／ライオン(株) 花田 真一 氏

⑩遮光性と使用性を両立したバイアルシュリンク包装の開発／エーザイ(株) 磯田 真穂 氏

⑪白濁化粧水の安定化に優れた4方シール袋の開発／(株)コーセー 内藤 茜 氏

⑫ノンストレスで滑らかにクリームを塗布できるチューブ容器開発／

花王(株) 森谷 始旦 氏、木村 栄紀 氏

■ 2025年6月号 特集：電子レンジ対応パッケージ

①水性フレキソ印刷と新ノンソルベントラミネートを組み合わせたレトルト殺菌・電子レンジ対応パッケージの開発／TOPPAN(株) 中込 顕一 氏

②電子レンジで調理ができる「楽チン鍋」のパッケージ開発／ヤマキ(株) 河野 裕 氏

③食の多様化と電子レンジ対応パッケージの進化／大日本印刷(株) 多久島 和弘 氏

④エフピコの電子レンジ対応食品容器／(株)エフピコ 西江 昌展 氏

⑤電子レンジで温めるキャットフードの開発「にゃんチュラルレンジ de 香りッチ」／はごろもフーズ(株) 野村 綾音 氏

■ 2025年7月号 特集：こだわり・おもしろ包装

①「響40年」伝統と革新が織りなす調和の美ーパッケージに込めた想い／サントリーホールディングス(株) 古庄 章子 氏

②容器で減塩『ソルトーフカップ(Salt off cup)』／

東洋製罐グループホールディングス(株) 三木 逸平 氏

③森永ミルクキャラメル3Dアートパッケージ企画を通して届ける当社の想い／森永製菓(株) 北原 正明 氏

④遊び心がつなぐ「お絵描き缶」ーパッケージが生む新しいコミュニケーション／東洋製罐グループホールディングス(株) 松廣 未奈 氏

⑤作業現場の強い味方！「くるりんぱシート」のこだわり技術／(株)精工 佐藤 友光子 氏

⑥段！極まる“ブライトプレス®”効果／レンゴー(株) 長峯 道代 氏

⑦超撥水性包装材 TOYAL LOTUS®／東洋アルミニウム(株) 寺澤 侑哉 氏

⑧おいしい温度が見えるパッケージ／朋和産業(株) 神谷 知毅 氏

■ 2025年8月号 特集：機能性包装の最新動向

①バイオ医薬品及び遺伝子/細胞治療製品に適した医薬品容器「OXYCAPT™」の技術／三菱ガス化学(株) 長谷川 弘毅 氏

②高耐久性のアルミ積層構成フィルム／共同印刷(株) 奥山 佐智子 氏

③青果物鮮度保持フィルム「Pープラス」の最近の動向／住友ベークライト(株) 溝添 孝陽 氏

④電子レンジで簡単調理：進化するジッパーテープと中食の可能性／

出光ユニテック(株) 太田 耀寛 氏

⑤「フタたびピタッと！®」の開発について／プリマハム(株) 中島 祥美 氏

⑥食品業界における粘着ラベルの役割と、冷凍・チルド用粘着ラベル素材の提案／リンテック(株) 山本 貴司 氏

⑦段ボール製耐水パレットの開発について／(株)アイザック 砂田 豊 氏

■ 2025年9月号 特集：日頃の備えと包装

- ①防災インテリア SONAIR (ソナエア) について／(株)石山 菊地 美紗子 氏
- ②耐熱ポリ袋「アイラップ」の変遷と防災への応用／岩谷マテリアル(株) 坂本 英明 氏
- ③3事業の技術にて実現した「ずっとおいしい豆腐」常温で157日間保存可能／
四国化工機(株) 営業企画推進室 新田 健人 氏
- ④非常時の為に備えておきたい段ボール製品／(株)アースダンボール 奥田 敏光 氏
- ⑤日常にも防災にも役立つ「ロングライフ紙パック」ー牛乳の新しい選択肢としての可能性／
日本テトラパック(株) 鈴木 陽子 氏
- ⑥「HOTPLUS あったかフードボックス」開発に込めた思い／(有)山本商事 山本 潤一 氏

■ 2025年10月号 特集：サステナブルパッケージ

- ①環境配慮型「竹材アイススティック」開発ストーリー／(株)ロッテ 是永 春奈 氏
- ②第三の紙資源「パームヤシカサ繊維」の活用を加速させるパッケージ／
(株)クラウン・パッケージ 大金 正明 氏
- ③包装の未来はバナナから？ー透明性と実用性で注目の次世代素材「バナナペーパー」／
ミヤザワ(株) 宮澤 雅宏 氏
- ④サステナブル社会実現へ：パルプモールドの貢献と新技術／
日本モールド工業(株) 石原 雄大 氏、清水 幸浩 氏
- ⑤植物性残渣を用いた生分解性プラスチック代替素材「自然のもので、自然の力で、自然に還す」 modo-cell®／アミカテラ(株) 増田 厚司 氏
- ⑥PFAS 不使用のグローバル対応エージェレス®「E シリーズ」／三菱ガス化学(株) 渡辺 理紗 氏
- ⑦モノマテリアルパッケージの機能性材料／DIC(株) 鍋木 悠城 氏、小林 裕季 氏
- ⑧パッケージ用コーティング剤をはじめとしたサステナビリティの取り組み／
サカタインクス(株) 中崎 智 氏

■ 2025年11月号 特集：輸送・重量物包装

- ①輸出における木箱梱包と強化段ボール梱包の現状／大網梱包(株) 山下 修 氏
- ②強化段ボール「ナビエース」を使用した輸送・重量物包装／ナビエース(株) 大山 孝一 氏
- ③重量物包装向け段ボール「ハイブルエース」／王子インターパック(株) 高橋 豊 氏
- ④輸送効率と災害対応を両立するボックスパレットダンカーゴ～トランコムとの連携で回収を解決できる取り組み～／(株)エーディエフ 田中 成佳 氏、トランコム(株) 遠藤 歩 氏
- ⑤トラック積載効率を飛躍的に高める新発想包装資材ー段 ZOOM の紹介ー／
富士木材(株) 石田 太一 氏
- ⑥パレット段積み用アタッチメント「E-スリーブ」による輸送効率向上と CO₂ 排出量削減効果
／親和パッケージ(株) 遠藤 紗奈子 氏
- ⑦ホリフトシステムー三位一体のサステナブルソリューションー／
堀富商工(株) プロガノ・ニコラス 氏、光宗 愛子 氏
- ⑧持続可能な輸送試験の潮流：米国 MSU×日本 IMV の視点から／
ミシガン州立大学 アミン・ジュダキー 氏、IMV(株) 小西 紅葉 氏
- ⑨JR 貨物グループが取り組む「モーダルコンビネーション」について／
日本貨物鉄道(株) 登尾 潤也 氏

⑩「スーパーセンシティブ輸送サービス」による超精密機器輸送の品質保証の進化／
日本貨物航空(株) 稲岡 久仁章 氏

■ 2025年12月号 特集：トイレタリー・コスメ・医薬品包装

- ①容器で高める製品の価値：THE ANSWER の挑戦／花王(株) 関 直子 氏
- ②リッチフォーマー（高発泡ポンプフォーマー）の開発／大和製罐(株) 孫工 貴行 氏
- ③「アタック抗菌 EX 超フィットボトル容器」の開発／
メビウスパッケージング(株) 藤枝 健介 氏、岡田 貴夫 氏、梶屋 夏生 氏
- ④最後まで外気にふれず清潔に使える「ビオレ UV アクアリッチ フレッシュパウチ」／
花王(株) 石塚 智也 氏
- ⑤「パキッとオープン」で新たな開封体験／福島印刷工業(株) 川越 陶道 氏
- ⑥射出成形に特化した共重合 PET 樹脂とその環境配慮性／
(株)ベルポリエステルプロダクツ 栗原 勇太 氏
- ⑦医薬品包装における改ざん防止技術／朝日印刷(株) 島田 拓 氏
- ⑧医薬品包装の表示管理業務のデジタル化による生産性向上／
中外製薬(株) 達紙 猛 氏、舟越 由香 氏、酒井 憲一 氏、愛波 曜 氏

■ 2026年1月号 新春特集：第49回木下賞受賞論文

- ①省材料・省工数で高緩衝力を実現した汎用ソフトタッチ段ボール緩衝材／
TOTO(株) 伊藤 勇樹 氏
- ②水平リサイクル可能な循環型即陳折りたたみコンテナ／
花王(株) 千葉 哲也 氏、藤田 実智昭 氏、三甲(株) 岩原 邦彦 氏、伊藤 香奈 氏
- ③積層段ボール緩衝材における緩衝設計理論の確立／
セイコーエプソン(株) 一宮 祐太 氏、神垣 真哉 氏
- ④国産高さ可変包装機「J-RexS」の開発／レンゴー(株) 加茂野 照大 氏、阿部 信幸 氏、
安部 潤一郎 氏、佐々木 良 氏、坪田 晶博 氏
- ⑤カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet®発泡体のソニー大型テレビ緩衝材への応用
／(株)カネカ 木村 慎吾 氏、福山 侑佳 氏、南 徹也 氏、佐藤 圭志 氏

◆年頭所感◆

(公社)日本包装技術協会 大塚 一男 会長

◆新春随筆◆ (氏名 50 音順)

マルハニチロ(株) 池見 賢 氏、YKK AP(株) 魚津 彰 氏、オークラ輸送機(株) 大庫 良一 氏、
タナカ印刷(株) 岡 充広 氏、(株)北四国グラビア印刷 奥田 拓己 氏、アサヒグループ食品(株) 川原 浩 氏、
朋和産業(株) 工藤 克彦 氏、IMV(株) 小嶋 淳平 氏、トーヨー工業(株) 近藤 大輔 氏、
日本フレキシブルコンテナ工業会 櫻井 隆悦 氏、王子マテリア(株) 新藤 恵悟 氏、
(株)東北ウエノ鈴木 雅彦 氏、武州製薬(株) 高野 忠雄 氏、大日精化工業(株) 高橋 弘二 氏、
(株)武田産業 武田 美奈子 氏、東罐興業(株) 田辺 宏信 氏、帝人ファーマ(株) 種田 正樹 氏、
(株)バックプラス 田端 芳強 氏、アース環境サービス(株) 田淵 徹 氏、大王パッケージ(株) 長岡 明男 氏、
島津ロジスティクスサービス(株) 永野 克己 氏、中村産業(株) 中村 昌樹 氏、アルトリスト(株) 橋田 浩一 氏
日本パレットレンタル(株) 二村 篤志 氏、日新シール工業(株) 堀川 孟 氏
(株)東洋紡パッケージング・プラン・サービス 堀 浩平 氏、(株)アイシン・ロジテックサービス 牧原 学 氏、
(株)岡山製紙 宮田 正樹 氏、日本ポリエチレン(株) 安田 孝 氏、(株)システムスクエア 山田 清貴 氏

■ 2026年2月号 特集：世界と出会うパッケージ／大阪・関西万博と包装

- ①めぐりズム 蒸気でほっとアイマスク 国内向け・海外向け共通外装仕様／
花王(株) 相川 知美 氏
- ②パッケージが「言葉の壁」を超えて商品の価値を伝えるために／(株)Payke 古田 奎輔 氏

- ③フードピクトが切り拓く多様性時代の食品表示／(株)フードピクト 菊池 信孝 氏
- ④九州ダンボール「竹段—TAKE DAN—」プロジェクト—竹から生まれる、新しい段ボールのかたち—／九州ダンボール(株) 橋爪 英理子 氏
- ⑤日本の味を世界へ—のむ天然おだし「雅」にみる“包む文化”の表現—／ボニートジャパン(株) 阿部恵里子 氏
- ⑥パッケージが創るブランドロイヤリティと体験価値／レンゴー(株) 岡野 香織 氏
- ⑦万博の「リング」を模した段ボール製展示台／(株)高木包装 高木 美香 氏
- ⑧大阪・関西万博におけるアルミ付き紙容器の資源循環モデルの発信／日本テトラパック(株) 大森 悠子 氏
- ⑨資生堂「美の玉 まがたま」「美の玉 しずく」—ビジョンプロジェクト開発／(株)資生堂 進藤 洋二 氏、小口 希 氏

■ 2026年3月号 特集：ミニマリズム包装

- ①ラベルレスサーマル®が描く包装の未来：効率性と持続可能性の両立／(株)リコー 小原 岳 氏、岡田 真治 氏、新井 伸幸 氏
- ②CO₂削減と経済性を両立するフィルム包材の国際共同開発／東レ(株) 辻 祐一 氏
- ③電子レンジで加熱可能な缶詰『レンジ de 缶®』の開発について／大和製罐(株) 犬丸 彰子 氏
- ④明治プロビオヨーグルト ドリンクタイプ容器包装の軽量化／(株)明治 笹嶋 俊介 氏
- ⑤養蜂文化と包装技術を日本全国へ届けたい／王子パッケージング(株) 大津 一範 氏
- ⑥載せ替え作業を削減する耐熱真空成形トレイの導入～製造・出荷工程の共通化による省人化と経済性の追求～／TSK(株) 高橋 雄治 氏
- ⑦滑り台が付与された緩衝機能付き個装箱の開発／アステラス製薬(株) 小島 清樹 氏

- 2) 「包装技術便覧/2019年2月発刊」、「包装用語早わかり(包装用語辞典)/2022年10月発刊」、「改訂版 包装…知っとく知識 改訂2版/2024年10月発刊」の販売
- 3) 月刊機関誌「包装技術」の電子データアーカイブ化着手
- 4) 「Q&A容器包装規制基準の手引き」誌の編纂

第2. 諸 会 議

- | | | |
|------------|-----------|--------------|
| 1) 理事会 | 5月19日(月) | 如水会館、オンライン併催 |
| | 6月13日(金) | 如水会館 |
| | 11月27日(木) | 如水会館、オンライン併催 |
| | 3月10日(火) | 如水会館、オンライン併催 |
| 2) 常務理事会 | 5月13日(火) | オンライン開催 |
| | 10月22日(水) | オンライン開催 |
| | 2月17日(火) | オンライン開催 |
| 3) 全国支部連絡会 | 5月20日(火) | オンライン開催 |
| | 12月17日(水) | 仙台国際センター |

- 4) 本部・支部諸会議 本支部単位で運営委員会・講習会委員会等を逐次開催
- ①東京本部 (研修教育) 包装専士講座研修委員会、包装管理士講座研修委員会、WEB フォーラム委員会、包装懇話会幹事会、各種セミナー企画委員会、他
- (展 示 会) 東京国際包装展実行委員会
- (調査研究) ISO/TC 122 委員会、JIS 委員会、包装統計委員会、他
- (出 版) 月刊機関誌『包装技術』編集委員会
- ②関西支部 支部役員会 5月29日(木)、運営委員会 8月26日(火)・3月6日(金)
生活者包装研究懇談会実行委員会 6月13日(金)・2月20日(金)
- ③中部支部 役員会 5月28日(水)、運営委員会 9月12日(金)・3月13日(金)
研究例会テーマ検討作業部会 2月6日(金)
- ④西日本支部 個別に運営委員を訪問し相談、報告
- ⑤北海道支部 運営委員会 5月12日(月)・10月30日(木)
- ⑥東北支部 運営委員会 5月22日(木)・8月20日(水)・3月5日(木)

第3. 行事・その他の活動

1) 行事

- (1) 第14回定時総会 6月13日(金) 如水会館
- (2) 新年会
- | | | | |
|-------|--------------------|----------|-----------------|
| 東京本部 | 2026年包装界合同新年会 | 1月 7日(水) | 東京會館 |
| 関西支部 | 2026年新春会員交流会／講演会 | 1月23日(金) | 大阪俱樂部 |
| 中部支部 | 2026年新年賀詞交歓会 | 1月22日(木) | 名古屋マリオットアソシアホテル |
| 北海道支部 | 2026年新春賀詞交歓会／新春研究会 | 1月21日(水) | ニューオータニイン札幌 |
| 東北支部 | 2026年新年名刺交換会／新春講演会 | 1月22日(木) | 江陽グランドホテル |

2) 会員交流会・支部特別講演会

- | | | | |
|--------|------------------|-----------|---------------|
| ①東京本部 | 総会会員交流懇親会 | 6月13日(金) | 如水会館 |
| | 包装管理士合格証書授与式・交流会 | 10月17日(金) | AP日本橋 |
| ②関西支部 | 支部会員総会／交流懇親会 | 5月29日(木) | ホテル日航大阪 |
| | 包装管理士合格証書授与式・交流会 | 10月24日(金) | ハートンホテル北梅田 |
| ③中部支部 | 支部会員総会／交流懇親会 | 6月24日(火) | メルパルク名古屋 |
| | 包装管理士合格証書授与式・交流会 | 11月 7日(金) | サイプレスホテル名古屋駅前 |
| ④西日本支部 | 包装管理士合格証書授与式・交流会 | 10月29日(水) | 西鉄イン福岡ホテル |
| ⑤北海道支部 | 支部会員総会 | 7月 3日(木) | ニューオータニイン札幌 |
| | IPP 合同親睦会 | 7月15日(火) | |
| | 包装管理士合格証書授与式・交流会 | 11月13日(木) | ニューオータニイン札幌 |
| ⑥東北支部 | 包装管理士合格証書授与式・交流会 | 11月 6日(木) | 江陽グランドホテル |

3) その他の活動

(1) Web サイトによる最新情報の提供 ホームページ定期更新12回、逐次情報発信

(2) Eメールによる協会活動内容の国内配信 メールマガジン年間12回 他、臨時配信

(3) JPI 関連団体との連絡提携

日本包装専士会、日本包装管理士会、日本包装コンサルタント協会、
技術士包装物流会、日本包装学会、日本 MH 協会 他

(4) 行政機関要請への協力と連携、研究機関、消費者団体、市民団体等との連携

経済産業省、厚生労働省、環境省、農林水産省、国土交通省、中小企業庁、消費者庁、
東京都、福岡県循環推進課、(地独)大阪産業技術研究所、兵庫県工業技術センター、
あいち産業科学技術総合センター、その他要請内容について随時判断

(5) 本年開催の JAPAN PACK 2025 への来場案内書送付を JPI 全会員に向け行った。

第4. 組織

会員動勢（2025年4月1日～2026年3月31日）は、次の通りである。

1. 法人会員

2025年度期首	2025年度		
979社	入会数 28社	退会数 38社	年度末現在 969社

2. 個人会員

2025年度期首	2025年度		
124名	入会数 21名	退会数 24名	年度末現在 121名

<会員登録動勢一覧>

	2025年 4月1日	本年度		2025年度 合計	
		入会	退会		
会員総数	1103	49	62	1090	
法人 (口数)	979社 (1005)	28社 (28)	38社 (38)	969社 (995)	
個人	124名	21名	24名	121名	
登録員数	法人	979社 2581名	28社 58名	38社 102名	969社 2537名
	個人	124名	21名	24名	121名
	合計	2705名	79名	126名	2658名
本部(東京)	法人	1523名	29名	56名	1496名
	個人	63名	13名	9名	67名
関西支部	法人	539名	14名	34名	519名
	個人	30名	5名	9名	26名
中部支部	法人	344名	12名	7名	349名
	個人	18名	2名	5名	15名
西日本支部	法人	90名	1名	1名	90名
	個人	4名	1名	0名	5名
北海道支部	法人	43名	0名	3名	40名
	個人	1名	0名	0名	1名
東北支部	法人	42名	2名	1名	43名
	個人	8名	0名	1名	7名

支 部

(北海道支部・東北支部・中部支部・関西支部・西日本支部)

2025年4月1日～2026年3月31日

◎北海道支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 包装管理士講座

(1) 第60期包装管理士講座(札幌募集枠)

受講7名/合格7名(生活者4名・輸送3名)

1. 集合研修(オリエンテーション・グループミーティング) ロワジールホテル豊橋
 - ・輸送包装コース 6月 4日(水)
 - ・生活者包装コース 6月 5日(木)
2. オンライン講義
 - ①統括教科 6月11日(水)
 - ②材料教科 6月18日(水)～6月20日(金)
 - ③専門教科
 - ・輸送包装コース 7月 1日(火)～7月 4日(金)
 - ・生活者包装コース 7月 8日(火)～7月11日(金)
3. オンライン試験
包装管理士試験(輸送包装コース/生活者包装コース) 8月25日(月)
4. 合宿研修(ケーススタディ・面接試験) ロワジールホテル豊橋
ケーススタディ・面接試験
 - ・生活者包装コース 9月 3日(水)～9月 5日(金)
 - ・輸送包装コース 9月 8日(月)～9月10日(水)
5. 合格証書授与式・レポート発表会・交流会 ニューオータニイン札幌
11月13日(木)

2) 研究会・講演会

(1) 2025北海道支部総会特別講演

7月3日(木) ニューオータニイン札幌 参加者32名

テーマ:「EU 包装・包装廃棄物規制(PPWR)の概要と将来像」

講師:公益社団法人 日本包装技術協会

包装技術研究所 包装材料研究室 室長

井出 安彦 氏

(2) 包装懇話会（日本包装管理士会北海道支部と共催） 参加者 35名
11月13日（木） ニューオータニイン札幌
テーマ：「プラスチック資源循環に挑む企業 アライアンス(CLOMA)の取り組み」
講師：花王株式会社 立浪 忠志 氏

(3) 新春研究会（日本包装管理士会北海道支部と共催） 参加者 23名
1月21日（水） ニューオータニイン札幌
テーマ：包装産業が支える地域発展：「イノベーション・システム」の可能性を探る
講師：北海道情報大学 経営情報学部教授 大学院研究科長 福沢 康弘 氏

<交流事業> （公益目的事業 1）

1) 企業見学研究会（北海道生産性本部と共催） 参加者 21名
10月17日（金）
①(株)道新総合印刷本社工場（北広島市）
②北海道電力(株)苫東厚真発電所（厚真町）

第2. 諸会議

1) 第1回支部運営委員会
5月12日（月） 北海道経済センター 出席者 11名

2) 第2回支部運営委員会
10月30日（木） 北海道経済センター 出席者 7名

3) 全国支部連絡会 5月20日（火） オンライン開催
12月17日（水） 仙台国際センター

第3. 行事・その他の活動

1) 北海道支部総会
7月3日（木） ニューオータニイン札幌 参加者 22名

2) JPI 北道支部・IPP 北海道支部合同 親睦会
7月15日（火） 北海道ビール園 参加者 29名

3) 第60期包装管理士講座合格証書授与式・レポート発表会・交流会
11月13日（木） ニューオータニイン札幌 参加者 30名

4) 2026年賀詞交歓会（日本包装管理士会北海道支部と共催） 参加者 23名
1月21日（水） ニューオータニイン札幌

◎東北支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 包装管理士講座

(1) 第60期包装管理士講座(仙台募集枠)

受講15名/合格15名(生活者6名・輸送9名)

1. 集合研修(オリエンテーション・グループミーティング) ロワジールホテル豊橋
 - ・輸送包装コース 6月 4日(水)
 - ・生活者包装コース 6月 5日(木)
2. オンライン講義
 - ①統括教科 6月11日(水)
 - ②材料教科 6月18日(水)～6月20日(金)
 - ③専門教科
 - ・輸送包装コース 7月 1日(火)～7月 4日(金)
 - ・生活者包装コース 7月 8日(火)～7月11日(金)
3. オンライン試験
包装管理士試験(輸送包装コース/生活者包装コース) 8月25日(月)
4. 合宿研修(ケーススタディ・面接試験) ロワジールホテル豊橋
ケーススタディ・面接試験
 - ・生活者包装コース 9月 3日(水)～9月 5日(金)
 - ・輸送包装コース 9月 8日(月)～9月10日(水)

2) 研究会・講演会

1. JPI WEB フォーラム(東北支部主催)

- ①10月16日(木) 参加者176名
テーマ:「完全循環型で海洋生分解性があり成形可能で透明な「板紙」」
講演者: 国立研究開発法人海洋研究開発機構
海洋機能利用部門生物地球化学センター 副主任研究員 磯部 紀之 氏
- ②2月10日(火)(西日本支部・東北支部共催) 参加者150名
テーマ:『2025日本パッケージングコンテスト入賞作品事例発表会』
「梅酒700ml瓶 五角柱紙器箱 12本用ケース」
王子コンテナ株式会社 営業本部 CS推進部 設計・デザイン室 平山 佳子 氏
「ころピタカートン」
ダイナパック株式会社 開発本部 製品開発グループ 山邊 哲久 氏
「カップ型緩衝材を用いた100kg級 精密機器包装の省材料化」
京セラドキュメントソリューションズ株式会社
技術本部 PSL統括技術部 第13技術部 MD17課 第2係 脇本 篤宏 氏

「全方向ガッチリ固定！T11パレットにぴったりな保管棚」

株式会社トーモク 開発営業第一部

豊島 圭人 氏

「緩衝機能付き箱パッド」

株式会社デンソーエアクール 開発部 技術支援室

塚田 篤来 氏

「モーターアッシーの3D包装」

太陽インダストリー株式会社 段ボール事業部 営業部 部長

菅 貴之 氏

2. 実開催講習会

2025年度 JPI 東北支部包装研究講演会

3月5日(木) 15:00～16:00 江陽グランドホテル 参加者20名

「サーキュラーエコノミーの実現に向けたプラスチック関連の取組について」

経済産業省 東北経済産業局 地域経済部 製造産業課 課長補佐 六沢 翼 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

1) 見学会(工場・施設)

11月7日(金) 13:00～16:00

参加者25名

見学先:「ヤマト運輸株式会社 宮城ベース」

2) 交流会

12月18日(木) 19:00～ 江陽グランドホテル

参加者19名

「包装管理士の夕べ in 仙台」 包装管理士会支部と共催

東北支部各運営委員・IPP 東北支部会員・仙台大会コーディネーター交流会

第2. 諸会議

1) 東北支部運営委員会

第1回 5月22日(木) 仙台第一生命タワービル会議室

議 題 (1) 2025年度 JPI 東北支部事業計画について

(2) 第63回全日本包装技術研究大会(仙台大会)について

(3) 今後の東北支部運営について

第2回 8月20日(水) 【オンライン会議】

議 題 (1) JPI WEB フォーラム(東北支部担当)のテーマ・講師案について

(2) 第63回全日本包装技術研究大会(仙台大会)講演者について

(3) 東北包装界新年名刺交換会での「新春講演会」講演者について

(4) 施設(工場)見学会について

第3回 3月5日(木) 江陽グランドホテル

議 題 (1) 2025年度事業報告

(2) 2026年度事業計画案について

2) 全国支部連絡会

5月20日(火) オンライン開催

12月17日(水) 仙台国際センター

第3. 行事・その他の活動

1) 第60期包装管理士講座合格証書授与式

11月6日(木) 江陽グランドホテル 孔雀の間 参加者37名

①包装技術研究発表大会

「車載用内装製品の輸送品質対策」 アルプスアルパイン株式会社 深井 泰州 氏

「1本入バイアル用カートンの改良」 ニプロファーマ株式会社 田村 優作 氏

「いくらトレーにおける重量のバラツキ改善」 福助工業株式会社 山並 承悟 氏

「レトルト食品用包装形態の開発」 レンゴー株式会社 青島 雅人 氏

「複合機用オプション製品における輸送効率の改善と包装材の脱プラスチック検討」

エトリア株式会社 岡田 知幸 氏

「段ボールの規格見直しによる輸送効率の向上」 NX商事株式会社 佐々木 幸志 氏

「Ansysを用いた落下衝撃を想定した強度解析シミュレーションの可能性検討」

エトリア株式会社 佐々木 祥二 氏

②合格証書授与式

③新包装管理士を囲む会

2) 第63回全日本包装技術研究大会(仙台大会)

12月18日(木)～19日(金) 仙台国際センター 展示棟 参加者364名

<特別講演> 12月18日(木)

テーマ:「北三陸から、世界の海を豊かにする」

講演者:株式会社北三陸ファクトリー 代表取締役 CEO 下葦坪 之典 氏

3) 2026年東北包装界新年名刺交換会

1月22日(木) 江陽グランドホテル 参加者42名

<特別講演会> 16:00～17:00

テーマ:「東北弁落語～なまて笑ってコミュニケーション～」

講演者:六華亭遊花(落語家)

<名刺交換会> 17:05～18:30

◎中部支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 包装管理士講座

(1) 第60期包装管理士講座 (名古屋募集枠)

受講64名/合格60名 (生活者16名・輸送44名)

1. 集合研修 (オリエンテーション・グループミーティング) ロワジールホテル豊橋
 - ・輸送包装コース 6月 4日 (水)
 - ・生活者包装コース 6月 5日 (木)
2. オンライン講義
 - ①統括教科 6月11日 (水)
 - ②材料教科 6月18日 (水)～6月20日 (金)
 - ③専門教科
 - ・輸送包装コース 7月 1日 (火)～7月 4日 (金)
 - ・生活者包装コース 7月 8日 (火)～7月11日 (金)
3. オンライン試験
包装管理士試験 (輸送包装コース/生活者包装コース) 8月25日 (月)
4. 合宿研修 (ケーススタディ・面接試験) ロワジールホテル豊橋
ケーススタディ・面接試験
 - ・生活者包装コース 9月 3日 (水)～9月 5日 (金)
 - ・輸送包装コース 9月 8日 (月)～9月10日 (水)

2) 研究会・講演会

[研究会]

(1) JPI WEB フォーラム (中部支部主催)

- ① 2月25日 (水) 参加者92名
テーマ:『物流の変革ー持続可能な物流の実現に向け荷主が取り組むべきことー』
講師:流通経済大学 流通情報学部 教授 大島 弘明 氏
- ② 3月9日 (月) 参加者126名
テーマ:『コカ・コーラシステムにおけるラベルレス PET ボトルの開発事例』
講師:株式会社コカ・コーラ 東京研究開発センター
パッケージ開発チーム 飯田 亮 氏

(2) 包装技術講習会

3月12日(木) ウィンクあいち(聴講+ウェビナー聴講(Zoom)) 参加者44名

内容①:『CAEを活用した形状設計アイデアの考案

ー改ざん防止キャップを例としてー』

講師:ライオン株式会社 研究技術センター フロンティアサイエンス研究所

パッケージ技術T 定家 恵実氏

内容②:『貨物試験(JIS Z 0200)の変遷について

～改正ポイントと問題点及び対策方法』

講師:石塚包装設計・開発事務所 代表

石塚 義夫氏

コーディネーター:あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター

環境材料室長 森川 豊氏

[講演会]

(3) 第62回中部支部会員総会記念講演会

参加者49名

6月24日(火) ホテルメルパルク名古屋 3階「シリウス」

テーマ:『職場のハラスメントを起こさないためのヒント』

講師:コンフィア社会保険労務士事務所 代表

磯部 法子氏

(4) 2025日本パッケージングコンテスト入賞作品発表会

参加者43名

12月11日(木) ウィンクあいち(聴講+ウェビナー聴講(Zoom))

テーマ:

① 『小型トナーカートリッジの包装箱 ～既存に捉われないシンプル設計～』

エトリア株式会社 GPT本部 第一トナー事業センター

FP開発室 FP開発二グループ

柴田 晃男氏

② 『ClearE-Sheet ー世界初!生産時のプラスチックごみを70%削減できるPTPシート』

CKD株式会社 自動機械事業本部 技術統括部 包装技術部 第1G

西尾 真吾氏

③ 『スラリーポンプの機種兼用包装材の開発』

ナビエース株式会社 営業本部 関東販売推進部

北條 貴裕氏

④ 『持ちやすさと混ぜやすさ、環境負荷軽減を追求した新しい納豆トレイ』

株式会社 Mizkan マーケティング本部 開発技術部 開発技術4課

町川 司氏

進行兼コメンテーター:あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター

環境材料室 主任研究員 村松 圭介氏

(5) 第65回包装技術研究大会中部大会

2月18日(水) ウィンクあいち (聴講+ウェビナー聴講(Zoom)) 参加者 68名

【講演内容】

内容①:『冷凍カップケーキ 輸送箱の包装仕様見直しによる作業性改善』

講師:協和ダンボール株式会社 営業本部 開発部 課長 金津 正人氏

内容②:『オロシ専用機の包装の改善』

講師:東海紙器株式会社 包装技術部 宮地 智乃氏

内容③:『包装仕様の見直しによる長尺木材の積載安定性の向上』

講師:株式会社トーモク 小牧工場 販売第三課 竹沢 慶太氏

内容④:『海外向け PTP 包装の新規設計』

講師:エーザイ株式会社 DHBL PST 製剤研究部 渥美 菜奈子氏

内容⑤:『クランクシャフト 先行生産用資材の改善、環境配慮資材の導入』

講師:株式会社チューゲン 営業部 係長 永井 太樹氏

内容⑥:『中袋・大袋キャンディ専用ライン 設備導入および包装設計変更による効率化』

講師:春日井製菓株式会社 商品開発部 佐藤 静氏

(6) 包装研究懇話会

中止

3) セミナー・コース

(1) 2025年度包装設計の基礎講座

参加者 25名

5月15日(木)・16日(金) 愛知県技術開発交流センター 交流会議室・研修室

【講義内容】

第1日目

「包装の役割と包装設計の考え方」

- ・包装の社会的役割 ・適性包装に向けて包装設計の考え方

MD ロジス株式会社 物流技術部 パッケージエンジニアリンググループ

主管(包装管理士) 星野 弘行氏

「段ボール箱の基礎と応用」

- ・段ボールの構造と原紙種類 ・段ボール箱の規格と製造工程 ・箱の圧縮強さの評価

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 部長(包装管理士) 早川 貴司氏

「段ボール箱の設計」

- ・段ボール箱の設計手順 ・段ボール箱の設計要因と劣化要因 ・箱圧縮強さの算出法

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 部長(包装管理士) 早川 貴司氏

「段ボール箱の製作」

- ・段ボール箱の製作

ダイナパック株式会社 開発本部中部 CSC 部長(包装管理士) 早川 貴司氏

「機能性プラスチック包装材料」

- ・機能性プラスチック包装材料の種類と使用の実例

株式会社アイセロ 商品開発本部 開発2部 次長 溝端 一幸氏

第2日目

「緩衝包装設計」

- ・緩衝包装の目的 ・緩衝材の種類 ・緩衝性能と緩衝設計技法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター

環境材料室 主任研究員 飯田 恭平 氏

「包装試験の目的と試験法」

- ・包装試験、包装材料試験の目的と試験法および評価法

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター

環境材料室 主任 村松 圭介 氏

「包装試験施設の見学」

- ・包装試験関連施設（衝撃・落下・振動試験、包装材料試験、箱圧縮試験など）の見学

あいち産業科学技術総合センター 産業技術センター

環境材料室 主任研究員 林 直宏 氏 他

「トータルコスト削減に向けた集合包装」

- ・トータルコスト削減に向けた集合包装

三菱電機株式会社 住環境研究開発センター

設計・品質技術開発部 設計技術開発グループ 新井 達也 氏

「包装改善とロジスティクス」

- ・ロジスティクスの中での包装の役割 ・輸送形態の特性とそれに適応した包装改善

株式会社デンソーロジテム 物流サービス本部 包装管理室 直納包装課

リーダー（包装専士） 小林 隆人 氏

(2) 第4 2回フレキシブルパッケージコース

参加者 47名

12月5日（金） JPI A会議室

【プログラム】

1. フレキシブルパッケージ（軟包装）とは
2. フレキシブルパッケージ用原材料
3. フレキシブルパッケージの衛生性
4. フレキシブルパッケージの製造
5. フレキシブルパッケージの設計
6. フレキシブルパッケージを取り巻く話題

講師：下山田包装技術事務所 所長

下山田 正博 氏

- (3) 第16回食品包装コース 参加者31名
2月4日(水)・10日(火)・16日(月)・24日(火) オンライン配信

【プログラム】

- 第1回「食品包装の役割」
第2回「食品包装用の包装材料」
第3回「食品変質の防止と包装」
第4回「食品包装の衛生性と包装機械」「環境問題と今後」

講師：加藤包装技術事務所 所長
坂巻技術士事務所

加藤 武男 氏
坂巻 千尋 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

見学会 *今期開催無し

第2. 諸会議

- 1) 第62回中部支部役員会 5月28日(水) 名古屋マリオットアソシアホテル
- 2) 第62回中部支部会員総会 6月24日(火) メルパルク名古屋
- 3) 中部支部運営委員会
第1回：9月12日(金) 名鉄グランドホテル
第2回：3月13日(金) 名鉄グランドホテル
- 4) 2026年度研究例会等講演テーマ検討作業部会
2月6日(金) サイプレスホテル名古屋駅前
- 5) 全国支部連絡会
第123回：5月20日(火) オンライン開催
第124回：12月17日(水) 仙台国際センター

第3. 行事・その他の活動

- 1) 第62回 会員総会 会員交流会 参加者49名
6月24日(火) メルパルク名古屋 3階「若葉」
- 2) 第60期包装管理士合格証書授与式・交流会 参加者50名
11月7日(金) サイプレスホテル名古屋駅前
合格証書授与式 2階「扇の間」/交流懇親会 2階「葵の間」
- 3) 2026年中部包装界新年賀詞交歓会 参加者95名
1月22日(木) 名古屋マリオットアソシアホテル

◎関西支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 包装管理士講座

(1) 第60期包装管理士講座 (大阪募集枠)

受講90名/合格89名 (生活者64名・輸送25名)

1. 集合研修 (オリエンテーション・グループミーティング) ロワジュールホテル豊橋
 - ・輸送包装コース 6月 4日 (水)
 - ・生活者包装コース 6月 5日 (木)
2. オンライン講義
 - ①統括教科 6月11日 (水)
 - ②材料教科 6月18日 (水)～6月20日 (金)
 - ③専門教科
 - ・輸送包装コース 7月 1日 (火)～7月 4日 (金)
 - ・生活者包装コース 7月 8日 (火)～7月11日 (金)
3. オンライン試験
包装管理士試験 (輸送包装コース/生活者包装コース) 8月25日 (月)
4. 合宿研修 (ケーススタディ・面接試験) ロワジュールホテル豊橋
ケーススタディ・面接試験
 - ・生活者包装コース 9月 3日 (水)～9月 5日 (金)
 - ・輸送包装コース 9月 8日 (月)～9月10日 (水)

2) 研究会・講演会

(1) JPI WEB フォーラム (関西支部主催)

- ①7月30日 (水) 参加者254名
「サステナブルパッケージとプレミアム価値の両立」
株式会社資生堂 ブランド価値研究所グローバルプロダクト価値開発センター
外装3グループ研究員 小橋 佳彦 氏
コーディネータ: 佐野委員(株式会社資生堂)
- ②8月20日 (水) 参加者187名
「発泡スチロールに関する海外法規制の動向」
発泡スチロール協会 人材開発部部长 藤原 裕士 氏
コーディネータ: 山岸委員(積水化成品工業株式会社)
- ③9月26日 (金) 参加者159名
「未来のレモンサワー」レモンスライス装入システムの開発」
アサヒビール株式会社 パッケージング技術研究所開発第二部副課長 神山 直也 氏
コーディネータ: 辻本委員(大日本印刷株式会社)

- ④ 10月30日(木) 参加者171名
「パルプモールドの設計理論と落下解析を活用した緩衝材設計および製品への展開」
ブラザー工業株式会社 LE 開発部 上原 淳治 氏
IJ デバイス統括部 高松 佑気 氏
コーディネータ：大塚副委員長(パナソニックホールディングス株式会社)
- ⑤ 12月10日(水) 参加者378名
「世界の法規制に日本はどのように対応するか～PPWR、EPRの現状と今後の展開～」
株式会社パッケージング・ストラテジー・ジャパン 取締役社長 森 泰正 氏
コーディネータ：吉田委員(サンスター株式会社)
- ⑥ 1月27日(火) 参加者171名
「紙容器の資源循環促進に向けて」
日本テトラパック株式会社 サステナビリティディレクター 大森 悠子 氏
コーディネータ：宮川委員(江崎グリコ株式会社)
- ⑦ 2月27日(金) 参加者216名
「フレキシ印刷パッケージと製版」
株式会社渡辺護三堂 代表取締役社長 宮田 玲 氏
本社営業部(国際ビジネス担当) スタマティオス・スタマティ 氏
コーディネータ：大谷委員(ザ・パック株式会社)
- ⑧ 3月11日(水) 参加者127名
「日本の物流が抱える本質的課題について」
～物流2024年問題が進行中の日本の物流の根幹治療とは～
株式会社NX総合研究所 リサーチフェロー 田阪 幹雄 氏
コーディネータ：下前委員(ダイキン工業株式会社)
- (2) 生活者包装研究懇談会 メンバー38名
- ① 10月21日(火) ハートンホテル北梅田
「サステナブルな容器包装の実現に向けた取組み」
株式会社ロッテ 中央研究所 研究情報戦略部パッケージ研究課チーフスペシャリスト 藤原 普夫 氏
コーディネータ：三笠産業株式会社 遠藤 明子 氏
「わかりやすく使いやすい薬のパッケージデザイン」
横浜薬科大学 薬剤学研究室教授 村田 実希郎 氏
コーディネータ：マルホ株式会社 逸崎 工 氏
- ◇情報交換会
- ② 11月19日(水) 見学会
沢井製薬株式会社 三田西工場
アスカカンパニー株式会社 本社工場
- ③ 1月20日(火) ハートンホテル北梅田
「医薬品容器におけるユニバーサルデザインと環境対応」
大成化工株式会社 開発技術本部 設計開発部 設計開発グループチームリーダー 染川 剛 氏
コーディネータ：UCC 上島珈琲株式会社 辻 琢也 氏

「育薬を支える“患者の声”：医薬品の包装・製剤と服薬時の“使いにくさ”の背景要因に着目して」
 慶應義塾大学薬学部 医薬品情報学講座教授 堀 里子 氏
 コーディネータ：大塚製薬株式会社 伊藤 祐一 氏
 ◇情報交換会

3) セミナー・コース

(1) 第32回包装基礎コース 参加者37名

5月14日(水)～16日(金) ハートンホテル北梅田

「包装概論」

日本包装技術協会 事務局次長・管理本部長 竹内 攻

「板紙・紙器」

大日本印刷株式会社 Life デザイン事業部 第1ビジネスユニット技術・開発本部
 製品開発部第2グループリーダー 辻本 隆亮 氏

「段ボール」

レンゴー株式会社 包装技術第一部大阪包装技術第一課担当課長 岸 宏幸 氏

「金属缶」

東洋製罐株式会社 品質保証部 茨木品質課課長 谷野 友哉 氏

「プラスチック容器」

東洋製罐株式会社 品質保証部 大阪品質課課長 岡田 悠佑 氏

「ガラス容器」

日本山村硝子株式会社 ガラスびんカンパニー生産本部技術開発部 型成形チームリーダー
 大西 邦和 氏

「プラスチックフィルム」

ユニチカ株式会社 フィルム事業部フィルム品質保証部部长 田中 信広 氏

「生活者包装技法」

TOPPAN 株式会社 生活・産業事業本部 SX 推進センターSX パッケージ開発本部
 西日本開発部 開発戦略・知財戦略チーム 三宅 英信 氏

「輸送包装」

アイロップ株式会社 包装技術部参事 吉木 宏 氏

(2) 第19回緩衝包装設計実践コース 参加者18名

11月7日(金) 大阪産業技術研究所 和泉センター

講義

1. 緩衝材についての基礎知識 2. 緩衝設計のための力学の基礎 3. 緩衝理論

(地独)大阪産業技術研究所 和泉センター 製品信頼性研究部生活科学・輸送包装研究室長

津田 和城 氏

講義・実習

4. 緩衝包装設計の前提条件 5. 応力-歪線図を使った緩衝設計

6. 評価試験機の見学と実演 7. 設計上の注意点と配慮点

セイコーエプソン株式会社 Pオフィス・ホーム企画設計部課長 竹下 三四郎 氏

(3) 第52回段ボール包装設計実習コース(定員16名/回) 参加者30名

【1回目】11月13日(木) ハートンホテル北梅田

11月14日(金) アイロップ(株)

【2回目】11月27日(木) ハートンホテル北梅田

11月28日(金) アイロップ(株)

【講義】「段ボール原紙・箱形式・特性・包装設計・包装貨物試験・製造等」

レンゴー株式会社 包装技術第一部 大阪包装技術第三課 担当部長代理 上原 英明 氏

【実習】(午前:個人作業 午後:グループ実習)

「寸法の算出・試作実習・試作品の圧縮試験および落下試験・講評と質疑応答」

アイロップ株式会社 包装技術部参事

吉木 宏 氏

アイロップ株式会社 包装技術部部长

脇田 明和 氏

<交流事業> (公益目的事業 1)

1) 会員フォーラム見学会(定員40名)

参加者40名

2月24日(火) 日本食品分析センター 彩都研究所

第2. 諸会議

1) 関西支部役員会 5月29日(木) ホテル日航大阪

出席者18名

1. 役員交代に関する件

2. 2024年度事業報告ならびに会計報告に関する件

3. 2025年度事業計画ならびに会計計画に関する件

4. その他

2) 関西支部運営委員会

①8月26日(火) アットビジネスセンター心斎橋駅前

出席者15名

1. 2025年度上期事業報告および進捗状況に関する件

2. 2025年度下期事業に関する件

3. その他

②3月6日(金) アットビジネスセンター心斎橋駅前

出席者15名

1. 2025年度下期事業報告に関する件

2. 2026年度事業計画に関する件

3. その他

3) 生活者包装研究懇談会実行委員会

①6月13日(金) イマイビル

出席者8名

1. 2025年度の実行委員について

2. 2025年度の募集および例会について 他

②2月20日(金) イマイビル

出席者8名

1. 2025年度の報告について

2. 2026年度について 他

4) 全国支部連絡会

- 第123回： 5月20日（火） オンライン開催
第124回： 12月17日（水） 仙台国際センター

第3. 行事・その他の活動

- 1) 支部総会および交流会 5月29日（木） ホテル日航大阪 参加者93名
1. 2024年度事業報告ならびに会計報告に関する件
2. 2025年度事業計画ならびに会計計画に関する件
3. その他
- 2) 第60期包装管理士講座（大阪会場）合格証書授与式・祝賀会 参加者64名
10月24日（金） ハートンホテル北梅田
- 3) 新春会員交流会 1月23日（金） 大阪倶楽部 参加者95名
◇年頭挨拶
公益社団法人日本包装技術協会 関西支部長 大坪 清
◇記念講演会「ストレスをこころの力に変える3つのC」
精神科医・認知行動療法研修開発センター理事長 大野 裕氏
◇交流パーティ

◎西日本支部

第1. 事業

1. 研修、育成、交流事業、普及啓発

<研修、育成事業> (公益目的事業 1)

1) 包装管理士講座

(1) 第60期包装管理士講座(福岡募集枠)

受講22名/合格22名(生活者15名・輸送7名)

1. 集合研修(オリエンテーション・グループミーティング) ロワジュールホテル豊橋
 - ・輸送包装コース 6月4日(水)
 - ・生活者包装コース 6月5日(木)
2. オンライン講義
 - ①統括教科 6月11日(水)
 - ②材料教科 6月18日(水)～6月20日(金)
 - ③専門教科
 - ・輸送包装コース 7月1日(火)～7月4日(金)
 - ・生活者包装コース 7月8日(火)～7月11日(金)
3. オンライン試験
包装管理士試験(輸送包装コース/生活者包装コース) 8月25日(月)
4. 合宿研修(ケーススタディ・面接試験) ロワジュールホテル豊橋
ケーススタディ・面接試験
 - ・生活者包装コース 9月3日(水)～9月5日(金)
 - ・輸送包装コース 9月8日(月)～9月10日(水)

2) 研究会・講演会

(1) JPI WEB フォーラム

2月10日(火)(西日本支部・東北支部共催) 参加者150名

テーマ:『2025日本パッケージングコンテスト入賞作品事例発表会』

「梅酒700ml瓶 五角柱紙器箱 12本用ケース」

王子コンテナ株式会社 営業本部 CS推進部 設計・デザイン室 平山 佳子 氏

「ころピタカートン」

ダイナパック株式会社 開発本部 製品開発グループ 山邊 哲久 氏

「カップ型緩衝材を用いた100kg級 精密機器包装の省材料化」

京セラドキュメントソリューションズ株式会社

技術本部 PSL統括技術部 第13技術部 MD17課 第2係 脇本 篤宏 氏

「全方向ガッチリ固定! T11パレットにぴったりな保管棚」

株式会社トーモク 開発営業第一部 豊島 圭人 氏

「緩衝機能付き箱パッド」

株式会社デンソーエアクール 開発部 技術支援室 塚田 篤来 氏

「モーターアッシーの3D包装」

太陽インダストリー株式会社 段ボール事業部 営業部 部長 菅 貴之 氏

(2) 特別講演会

2025年度 特別講演会 (WEB フォーラムと対面のハイブリッド開催)

* 3月から4月3日 (金) 福岡国際会議場 参加者138名

テーマ:「環境配慮を目指した新たなプラスチック成形プロセスと機能化」

講師:福岡大学名誉教授・広島大学客員教授 八尾 滋 氏

(3) 2025包装事例研究発表会

10月29日 (水) 西鉄イン福岡ホテル 参加者30名

「第60期包装管理士講座」包装論文より発表

①「段ボールの仕様変更による物流費及び輸送効率の改善」株式会社高速 庄子 柚 氏

②「椒房庵「玉子焼きの素」液体小袋の液漏れ改善について」

株式会社久原本家グループ本社 春山 元秀 氏

③「衝撃吸収機能を備えた包装の開発」 TOTO 株式会社 西澤 亜希子 氏

④「前板包装の設計変更による不具合の改善」 TOTO 株式会社 後藤 智彦 氏

<交流事業> (公益目的事業)

1) 見学会 (IPP支部と共催) 今期なし

2) 交流会

10月29日 (水) 西鉄イン福岡ホテル 参加者30名

「第60期新包装管理士を囲む会」

第2. 諸会議

1) 西日本支部運営委員会

* 個別に運営委員を訪問し相談、報告に変更

2) 全国支部連絡会

第123回: 5月20日 (火) オンライン

第124回: 12月17日 (水) 仙台国際センター

第3. 行事・その他の活動

1) 第60期包装管理士合格証書授与式・交流会 参加者30名

10月29日 (水) 西鉄イン福岡ホテル

2) 官公庁、関連団体との協力連携活動

7月31日 (木) 「令和7年度ふくおかプラスチック資源循環ネットワーク会議」参加